



いちばん長生きする動物は何なの

カメが長生き

野生の動物は、生まれてから死ぬまで、きちんと何年生きていたかを調べるのがむずかしいため、人間に飼われていた記録だけしかありません。

記録がある中で、いちばん長生きだったのは、1918年に事故で死んだゾウガメで、152年間飼われていました。このカメは、人間につかまったときには、おとなになっていたので、200才ぐらいだったのではないかと、いわれています。ふつうのカメは、50年ぐらい生きるものが多いようです。

人間も長生き

つぎに長生きなのは人間で、最高記録は、1997年になくなったフランスのカルマンさんで、122才6か月生きていました。1998年の現在、いちばん長生きしている人は117才です。

人間のつぎに長生きなのは、ゾウで、いちばん長生きした記録は、1975年に死んだメスのインドゾウで、78才でした。

最大の動物であるシロナガスクジラも、100才ぐらいまで生きるといわれていますが、実際のはっきりした記録はありません。

鳥の長生き

鳥も長生きが多く、いちばん長生きだったのは、1982年に死んだロンドン動物園にいたオウムで、80才以上、アメリカの国際ツル園で飼われていたツルは、82才まで生きていたといわれています。（監修・今泉 忠明）

